



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月13日

上場会社名 株式会社 日本製鋼所
コード番号 5631 URL <https://www.jsw.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松尾 敏夫
問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 中西 英雄
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-5745-2001

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	173,887	7.2	11,238	86.0	12,709	70.7	8,968	170.1
2023年3月期第3四半期	162,196	10.3	6,041	△40.4	7,444	△34.3	3,319	△63.3

(注)包括利益 2024年3月期第3四半期 11,533百万円 (122.5%) 2023年3月期第3四半期 5,184百万円 (△22.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	121.87	—
2023年3月期第3四半期	45.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	362,792	167,821	45.8
2023年3月期	348,358	160,636	45.7

(参考)自己資本 2024年3月期第3四半期 166,240百万円 2023年3月期 159,100百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	29.00	—	29.00	58.00
2024年3月期	—	29.00	—		
2024年3月期(予想)				29.00	58.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年 3月期の連結業績予想(2023年 4月 1日～2024年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	250,000	4.7	17,000	22.8	18,000	20.3	14,000	16.9	190.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更： 無
 - ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	74,399,910 株	2023年3月期	74,387,779 株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	804,644 株	2023年3月期	804,399 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	73,590,697 株	2023年3月期3Q	73,569,048 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手している情報に基づき当社が判断した予想であり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(四半期連結貸借対照表関係)	7
(四半期連結損益計算書関係)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
受注高、売上高及び受注残高の状況	
(1) 受注高	9
(2) 売上高	9
(3) 受注残高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、産業機械事業では、成形機の市況回復が遅れたほか、樹脂製造・加工機械の一部で案件進捗が一時的に停滞した影響を受けましたが、足元では過去最高水準の受注残高で推移しております。素形材・エンジニアリング事業では、多様なエネルギー関連投資の高まりを背景に、素形材製品の安定した需要が継続するなど、総じて堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは2021年5月に策定しました2026年3月期を最終年度とする5カ年の中期経営計画「JGP2025」に沿って事業活動を推進しております。また、2024年3月期においても、産業機械事業、素形材・エンジニアリング事業とも、新規需要開拓、製品付加価値向上や競争力強化とともに、お客様のご理解を得ながら販売価格改善に向けた活動を継続しております。

当社グループにおける当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、前年同期に比し、受注高は、産業機械事業が減少したものの、素形材・エンジニアリング事業が増加したことから、2,231億75百万円（前年同期比1.8%増）となりました。売上高は、産業機械事業及び素形材・エンジニアリング事業が共に増加したことから、1,738億87百万円（前年同期比7.2%増）となりました。損益面では、営業利益は112億38百万円（前年同期比86.0%増）、経常利益は127億9百万円（前年同期比70.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、89億68百万円（前年同期比170.1%増）となりました。

主要なセグメント別の業績は次のとおりであります。

(産業機械事業)

受注高は、防衛関連等でその他の産業機械が増加したものの、成形機や樹脂製造・加工機械においてフィルム・シート製造装置が減少したことから、1,759億15百万円（前年同期比5.7%減）となりました。

売上高は、樹脂製造・加工機械において造粒機等が増加したことから、1,451億54百万円（前年同期比4.9%増）となりました。

営業利益は、販売価格の改善効果と売上高が増加したことから、133億53百万円（前年同期比24.2%増）となりました。

(素形材・エンジニアリング事業)

受注高は、素形材製品が増加したことから、457億58百万円（前年同期比46.4%増）となりました。

売上高は、素形材製品が増加したことから、272億7百万円（前年同期比20.8%増）となりました。

営業利益は、販売価格の改善効果と売上高が増加したことに加え、操業の増加もあり、19億89百万円（前年同期は営業損失14億65百万円）と大きく改善しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比144億34百万円増加し、3,627億92百万円となりました。これは主に、仕掛品や原材料及び貯蔵品などの流動資産が増加したためであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末比72億49百万円増加し、1,949億70百万円となりました。これは主に、契約負債などの流動負債が増加したためであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末比71億84百万円増加し、1,678億21百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したためであります。自己資本比率は45.8%（前連結会計年度末は45.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における実績および最近の業績動向等を踏まえ、2023年5月12日に公表いたしました2024年3月期の通期連結業績予想を修正しております。

内容につきましては、本日（2024年2月13日）公表の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	87,286	88,670
受取手形及び売掛金	68,524	57,080
電子記録債権	3,672	4,292
商品及び製品	5,668	6,879
仕掛品	76,245	90,961
原材料及び貯蔵品	8,839	10,787
その他	13,988	15,693
貸倒引当金	△369	△304
流動資産合計	263,856	274,060
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,197	24,093
機械装置及び運搬具（純額）	11,084	12,066
その他（純額）	12,301	11,482
有形固定資産合計	44,583	47,642
無形固定資産		
のれん	242	121
その他	1,294	1,359
無形固定資産合計	1,537	1,480
投資その他の資産		
投資有価証券	19,388	21,955
その他	19,244	17,978
貸倒引当金	△251	△325
投資その他の資産合計	38,381	39,608
固定資産合計	84,501	88,732
資産合計	348,358	362,792
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,715	32,223
電子記録債務	34,481	35,982
短期借入金	10,905	12,662
1年内返済予定の長期借入金	2,523	4,344
未払法人税等	1,605	1,013
契約負債	33,358	41,274
風力事業損失引当金	512	512
事業再構築引当金	1,541	1,538
その他の引当金	744	215
その他	17,024	17,968
流動負債合計	137,412	147,735
固定負債		
長期借入金	29,118	25,868
引当金	44	46
退職給付に係る負債	11,174	11,544
資産除去債務	1,401	1,420
その他	8,569	8,355
固定負債合計	50,308	47,235
負債合計	187,721	194,970

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,799	19,818
資本剰余金	5,531	5,550
利益剰余金	131,093	135,793
自己株式	△2,315	△2,316
株主資本合計	154,108	158,845
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,956	4,906
繰延ヘッジ損益	△359	△937
為替換算調整勘定	1,168	2,304
退職給付に係る調整累計額	1,225	1,120
その他の包括利益累計額合計	4,991	7,394
非支配株主持分	1,536	1,581
純資産合計	160,636	167,821
負債純資産合計	348,358	362,792

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	162,196	173,887
売上原価	130,771	134,474
売上総利益	31,425	39,413
販売費及び一般管理費	25,383	28,174
営業利益	6,041	11,238
営業外収益		
受取利息	25	54
受取配当金	624	632
為替差益	151	270
固定資産賃貸益	426	261
持分法による投資利益	—	27
雑収入	476	519
営業外収益合計	1,704	1,766
営業外費用		
支払利息	158	158
持分法による投資損失	26	—
雑損失	116	137
営業外費用合計	301	295
経常利益	7,444	12,709
特別利益		
固定資産売却益	4	13
投資有価証券売却益	38	344
特別利益合計	43	357
特別損失		
固定資産除却損	194	267
投資有価証券評価損	343	—
品質不適切行為関連損失	745	240
特別損失合計	1,282	508
税金等調整前四半期純利益	6,205	12,558
法人税、住民税及び事業税	2,226	3,075
法人税等調整額	569	392
法人税等合計	2,795	3,467
四半期純利益	3,409	9,091
非支配株主に帰属する四半期純利益	89	122
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,319	8,968

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	3,409	9,091
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	119	1,950
繰延ヘッジ損益	225	△578
為替換算調整勘定	1,550	1,176
退職給付に係る調整額	△120	△105
その他の包括利益合計	1,774	2,442
四半期包括利益	5,184	11,533
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,051	11,371
非支配株主に係る四半期包括利益	132	162

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

Fine Crystal (H.K.) Co., Ltd. は、重要性が低下したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

(偶発債務)

当社の子会社である日本製鋼所M&E株式会社が製造する製品の一部につき、その製造過程で実施すべき検査の一部において、お客様の要求仕様から逸脱する検査数値を、関連仕様の範囲内に収まる数値とするなどの不適切な行為が行われていたことが2022年5月に社内調査により判明し、外部弁護士から構成される特別調査委員会の調査報告書を2022年11月に受領しました。

つきましては、将来の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。現時点ではその影響額を合理的に見積もることが困難なため、四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(四半期連結損益計算書関係)

(品質不適切行為関連損失)

当社の子会社である日本製鋼所M&E株式会社（以下「M&E社」といいます。）が製造する製品の一部につき、その製造過程で実施すべき検査の一部において、お客様の要求仕様から逸脱する検査数値を、関連仕様の範囲内に収まる数値とするなどの不適切な行為（以下「不適切行為」といいます。）が行われていたことが2022年5月に社内調査により判明いたしました。

当社は、今般のM&E社での不適切行為の発覚を受けて、M&E社のみならず当社グループの品質保証体制の検証に取り組んでおり、加えて、外部弁護士から構成される特別調査委員会を設置し、調査を実施いたしました。これらに関連する費用等を品質不適切行為関連損失として計上しております。

なお、本件事案の今後の進捗次第では、顧客への補償費用等の発生により当社の連結業績に影響を及ぼす可能性があります。現時点ではその影響額を合理的に見積もることが困難なため、四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	産業機械事業	素形材・ エンジニアリング 事業	その他事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	138,320	22,524	1,351	162,196	—	162,196
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	585	3,257	1,376	5,220	(5,220)	—
計	138,906	25,782	2,728	167,417	(5,220)	162,196
セグメント利益(営業利益)又は セグメント損失(△)(営業損失)	10,749	△1,465	△380	8,904	(2,862)	6,041

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△2,862百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引にかかる棚卸資産の調整額等が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	産業機械事業	素形材・ エンジニアリング 事業	その他事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	145,154	27,207	1,525	173,887	—	173,887
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	875	5,437	1,418	7,731	(7,731)	—
計	146,029	32,644	2,944	181,619	(7,731)	173,887
セグメント利益(営業利益)又は セグメント損失(△)(営業損失)	13,353	1,989	△59	15,284	(4,045)	11,238

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△4,045百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引にかかる棚卸資産の調整額等が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

受注高、売上高及び受注残高の状況

(1) 受注高

(単位：百万円)

セグメント区分	前第3四半期連結累計期間 (2022年4月1日～2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (2023年4月1日～2023年12月31日)
産業機械事業	186,537	175,915
素形材・エンジニアリング事業	31,252	45,758
その他事業	1,350	1,502
合 計	219,139	223,175

(2) 売上高

(単位：百万円)

セグメント区分	前第3四半期連結累計期間 (2022年4月1日～2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (2023年4月1日～2023年12月31日)
産業機械事業	138,320	145,154
素形材・エンジニアリング事業	22,524	27,207
その他事業	1,351	1,525
合 計	162,196	173,887

(3) 受注残高

(単位：百万円)

セグメント区分	前第3四半期連結累計期間 (2022年4月1日～2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (2023年4月1日～2023年12月31日)
産業機械事業	228,455	241,159
素形材・エンジニアリング事業	43,754	60,753
その他事業	138	130
合 計	272,348	302,043